

## 10. 関係機関・関係団体との連携強化事業の実施

処理業界に課された諸課題など相互理解を深め、情報の提供・収集など研鑽に努め、廃棄物処理体制の確立を資するため、諸団体や学会との交流を図り行政機関や関係団体他が実施する環境啓発イベント参加等、積極的展開を図った。

### 記

- ・ 県共催事業に積極的参画
- ・ ぐんま環境フェスティバルイベント参画
- ・ 不法投棄防止県民の集いイベント参画
- ・ 21世紀の森音楽祭関連環境啓発活動参画
- ・ (公社)全国産業廃棄物連合会事業活動 理事会、各委員会、各部会参画
- ・ (公社)全国産業廃棄物連合会 関東地域協議会事業活動に参画
- ・ その他

(公社)全国産業廃棄物連合会 主催  
第13回産業廃棄物と環境を考える会参画  
(開催日：平成26年11月7日 場所：盛岡市ホテルホリタン)



第52回関東地域協議会参画  
(開催日：平成26年11月28日 場所：浦安グライントホテル)



# 1 1. (公益財団法人)日本産業廃棄物処理振興センター(主催) 産業廃棄物処理業許可に関する講習会開催事業の実施

## [講習概要]

適正処理の推進に関する処理業者の有限会社資格取得講習会である。  
当群馬県協会の業務は、受講者受付・受講整理・会場設営・開催運営業務である。

循環型社会の構築、処理業者の資質向上を目指し、処理業界に係る無許可業者に対して適正処理の推進・不適正事案の防止を目的に、普及啓発活動の一環として処理業許可取得の呼びかけを積極的に展開した。

群馬県の平成25年度産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可に関する講習会(新規)及び(更新)並びに特別管理産業廃棄物責任者に関する講習会は協会員以外の第三者を含め、県内はもとより全国各地より多くの受講者を迎えて開催した。

## [都道府県よりの受講者] (於：群馬建設会館)

講習種別		期間	受講者数
新規許可講習	産業廃棄物収集運搬	平成26年7月17-18日	143名
		平成27年2月4-5日	134名
	受講都道府県(全15都道府県)	群馬・岩手・宮城・福島・茨城・栃木・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟・長野・山梨・静岡・愛知	
更新許可講習	産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物収集運搬	平成26年8月21日	202名
		平成26年11月19日	165名
		平成27年2月6日	114名
	産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処分(収集運搬課程同時開催)	平成27年3月11-12日	97名 (うち両課程63名)
受講都道府県(全25都道府県)		群馬・北海道・青森・岩手・宮城・福島・茨城・栃木・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟・長野・静岡・愛知・富山・福井・岐阜・三重・京都・大阪・広島・山口・高知	
特別管理産業廃棄物管理責任者		平成26年8月22日	145名
		平成26年11月20日	208名
受講都道府県(全7都道府県)		群馬・茨城・栃木・埼玉・東京・新潟・長野	



## 1 2. 産業廃棄物に関する情報の収集及び会員への提供事業の実施

### ①産業廃棄物の処理に関する照会等への対応

産業廃棄物の処理に関する実態や動向、協会の組織活動および会員の事業活動に関する情報の提供や県民、報道機関、排出事業者、処理業者、会員及び関係機関からの照会や相談に対して回答や資料提供を行った。

- ・産業廃棄物処理法の改正に係る資料提供
- ・県内外処理施設の問合せ応答
- ・処理業に係る業許可取得講習会の受講問合せ応答
- ・業許可取得に係る申請手続きについての問合せ応答
- ・処理に係る許可業者の問合せ応答
- ・構築物の取壊しに関する問合せ応答

### ②ホームページによる協会活動の情報提供事業の実施

公益法人認定基準事項に「情報開示の適正性」があるが、当協会にとって情報公開は必要不可欠である。情報公開の一方法として「ホームページ」の充実が最も早く確実であるため、事務局では、外注に依存せず容易に更新・変更できるようにホームページを作成することにより、迅速な情報提供を可能にしている。問合せの多い「講習会」、「マニフェスト」のメニューをトップページ中央位置に配置するなど、より見やすいものを目指している。

協会の事業活動である環境美化運動、ぐんま環境フェスティバルイベントなどの実施報告及び記録写真を掲載しているほか、協会への各種問合せフォームや会員専用ページの設置、活動記録写真の掲載、会員情報の提供、新着情報等の随時更新をしている。

なお、会員情報（URL、メールアドレス、周辺地図、処理業の許可品目、会社PR…希望会員のみ）の掲載は無料。会員専用ページにはユーザーID、パスワードが必要である。



トップページ

URL <http://www.kankyogunma.com/>



# 1 3. 適正処理推進事業

## 不適正処理・不法投棄防止啓発活動の積極的実施

当協会は、発足時より適正処理の推進、環境保全に寄与を主旨活動に掲げ、協会12支部組織による不適正処理・不法投棄防止活動を積極的に展開している。

本年度は、協会長に委嘱された適正処理推進員(各支部に6名を配置)は各支部会員とともに廃棄物適正処理啓発活動並びに不適正処理・不法投棄防止啓発活動を積極的に行い、当協会は群馬県、群馬県警察、市町村、当協会名を連記した不法投棄防止立看板(許すな不法投棄監視区域)を作成し、県下地域において設置活動を実施した。

本年度は、立看板設置許可期限切れの為、当面、各支部に30箇所を設置した旧立看板を撤去し、設置更新申請に係る新たな設置確定場所の調査を実施し、早急に県下地域に設置するとともに適正処理推進活動並びに不適正処理・不法投棄防止啓発活動を積極的に行った。



不法投棄防止立看板



許可証シールの貼付作業状況



不法投棄防止立看板設置状況



不法投棄防止立看板設置状況

## 1 4. 電子マニフェスト導入並びに 紙マニフェスト頒布他普及啓発活動事業の実施

マニフェストの使用は、平成2年から厚生省(環境省)の行政指導により、平成5年4月から特別管理産業廃棄物について義務付けられ、産業廃棄物マニフェスト制度は、平成10年12月から施行され、同時に「紙マニフェスト(複写式)」伝票に加え、パソコンや携帯電話、IT 端末を利用した制度「電子マニフェスト」が導入される。

マニフェスト制度は、排出事業者が収集・運搬業者又は処分業者に委託した(特別管理)産業廃棄物の処理の流れを自ら把握し、不法投棄防止策等、適切な処理を確保することを目的とした制度であり、公益目的事業である。

当協会は、循環型システムの普及促進を図るべく上部機関と連携し、排出事業者はもとより、処理業者の適正処理推進を目的として群馬県内のマニフェスト頒布事業の窓口としてマニフェストの頒布啓発、指導を業務として積極的に公益事業展開を図り普及啓発促進活動に努めた。

電子マニフェストにおいては法令遵守、また IT を活用して産業廃棄物の移動におけるトレーサビリティ(履歴管理・追跡可能性)を向上させ、不適正処理、不法投棄による環境汚染を未然に防ぐと考えられている観点から普及促進に取り組んでいる。

平成 26 年度マニフェスト頒布実績 (数量)

種 類	単 票	連 続	計
産業廃棄物マニフェスト (直行用)	95,600	68,000	163,600
産業廃棄物マニフェスト (積替用)	11,000	0	11,000
建設系廃棄物マニフェスト	104,900	50,500	155,400
合 計	211,500	118,500	330,000

(単位：枚)

電子マニフェストシステム加入者数

	排出事業者	収集運搬業者	処理業者	計
群馬県内	2,013	202	112	2,327
全国平均	2,135	304	158	2,597

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

※群馬県協会 城田裕司会長は、(公社)全国産業廃棄物連合会副会長・マニフェスト推進委員長の重責を担い、貢献。

## 15. 「第16回ぐんま環境フェスティバル」参画

開催日 平成26年9月27日(土)AM9:30~PM4:00

会場 ヤマダ電機 (LABI1 高崎)

当協会が普及啓発活動の一環として取組んでいる環境啓発イベントであり、本年度の第16回ぐんま環境フェスティバルでは、実行委員会を再編成し、学界、産業界を含めた59団体構成とし、実行委員長に当協会城田会長、運営企画部会長に井上総務委員長が就任した。当協会が実行委員会開催事務局並びに開催運営の重責を担い、実行委員会組織、企画運営部会組織にて、学界、関係機関、関係企業、報道機関の連携支援を仰ぎ、開催した。

本イベントは上武大学吹奏楽部にて幕開け、開会式は、群馬県知事、群馬県議会議長須藤昭男様をはじめ、実行委員会役員、企画運営部会役員と関係機関、出展関係者、当協会員(青年部・適正処理推進員・女性部会・医療系部会)が参画し、実行委員会事務局の井上昭企画運営部会長より開会の辞、実行委員会長 城田裕司より開会挨拶、来賓より群馬県知事の祝辞、引続き県議会議長の祝辞をはじめ、開催市高崎市市長、群馬県警察本部安全部長、行政機関・関係機関の代表者の祝辞、会場について特段のご厚意をいただいたヤマダ電機(株)代表取締役社長 山田昇様の祝辞、各機関代表者の紹介がなされた。

当協会組織は、開催運営の主軸となり、ボランティア理念により組織一丸となって取組み、環境啓発事業活動の一環として環境学習迷路コーナーを出展し、積極的に普及啓発活動に努めた。幼児から大人までが楽しく学べる出展は、第一人気と好評であった。各出展者は新たな企画を取り入れて充実した出展をし、来場者(幼児から学生~大人まで)の参加により、環境啓発活動は大好評に開催された。本年度も、学界の参画を仰ぎ、新たな発想を組入れ、学界より講師(前橋工科大学 准教授 平川隆一氏・群馬大学 教授 渡邊智秀氏・日本原子力開発機構 小林泰彦氏)を招き、基調講演会(3部構成)を開催した。いずれの講演会も多くの聴講者が訪れ、盛況であった。学校関連、関係企業、関係団体、関係機関よりの多くの出展参加と多くの来訪者により賑わい、大成功裡を収めた。



開会式状況



学会講師による基調講演



環境啓発イベント



環境啓発イベント  
(当協会ボランティア)

## 16. (主催)群馬県廃棄物不適正処理防止啓発推進本部 適正処理推進事業

### 第16回不法投棄防止県民の集い開催参画

---

開催日 平成26年9月27日(土)AM11:00～

会場 ヤマダ電機 (LABI1高崎) 高崎イベント会場 (1F・2F)

高崎駅周辺にて街頭啓発キャンペーン開催

第16回ぐんま環境フェスティバルと同時開催。

本イベントは、環境県ぐんまの創造に向けた廃棄物処理の適正処理推進に関する「廃棄物処理の適正処理推進」にかかわる不法投棄防止活動事業の一環として、県行政、県警本部、県産業環境連絡協議会、(一社)県建設業協会、当協会により連携し、ぐんま環境フェスティバルとの共催事業として、関係機関、関係団体、関係企業、県民による「不法投棄防止県民の集い」を開催した。当協会は、開催事務局を担い、不適正処理防止啓発推進活動に努めた。

当日は、不法投棄防止啓発街頭キャンペーンを実施し、上武大学生による吹奏楽演奏、超速戦士G-FIVEの参画、群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」の特別参画、行政機関、関係機関、関係団体が参画した。

当協会会員企業は、「不法投棄撲滅」、「みんなで守ろう住み良い郷土」を提唱し、高崎駅周辺で街頭啓発活動を実施し、歩行者に啓発資料を配布するなど、積極的に啓蒙活動を実施した。



協会員による街頭キャンペーン状況



群馬のマスコット「ぐんまちゃん」と  
「G-FIVE」が参画

## 17. (県連携)環境美化統一キャンペーン他、事業参画

県下、各地域で開催される環境保全推進を目指して普及啓発活動に各支部によるボランティア参加で、県との連携事業として、春秋の環境月間において積極的に展開した。

## 18. 21フォーラム機構関東圏連絡路上調査 廃棄物収集運搬車両の一斉調査事業に参画

実施日 平成26年10月16日（木）

場所 県道18号線 伊勢崎市 八斗島交番周辺

平成26年10月16日（木）近時の組織的かつ悪質な不法投棄多発防止強化月間の一環として、東京都庁に事務局をおき、21フォーラム機構関東圏の都県が連携する路上調査は、群馬県・群馬県警察及び関係機関と連携し、廃棄物積載運搬車両に対する調査・指導の検問を県道18号線伊勢崎市八斗島交番周辺において実施した。

検問箇所では、協会本部・伊勢崎支部会員を中心とした協会役員・適正処理推進員が参加し、協会の啓発のぼり旗を掲げ、啓発資料等を配布するなど、廃棄物適正処理の推進、啓発を通じて組織・業界のイメージアップに努めた。※標記路上一斉調査は関東圏における群馬県協会のみ参画。



路上調査の状況



路上調査の状況



協会員の協力状況

## 19. 「インダスト」の活用及び提供 事業の実施

当協会の上部団体である公益社団法人全国産業廃棄物連合会が発行する産業廃棄物処理の総合専門誌として評価の高い「INDUST（インダスト）」を当協会で購入し、当協会員の資質研鑽に係る情報収集の提供並びに関係機関の県環境森林部、県民局環境（森林）事務所及び中核市の前橋・高崎両市役所に提供させていただき、産業廃棄物処理全般の情報提供手段の一環として、理解を深めていただく一助として提供している。

当協会は、会員関連企業者等に向けて業界専門誌の活用による資質研鑽・情報収集に役立つ「インダスト」の普及に努めている。





20. (公社) 全国産業廃棄物連合会 連携事業  
公益社団法人全国産業廃棄物連合会 関東地域協議会  
平成26年度 第3回 女性部会 研修会他開催  
開催日時 平成27年2月19日(木) Am10:00~Pm5:00  
研修会場 ホテル 磯部ガーデン  
見学交流箇所 世界遺産「富岡製糸場」・高崎観音様、洞窟観音他

[開催概要]

公益社団法人全国産業廃棄物連合会 関東地域協議会 女性部会第3回研修会開催は、公益社団法人群馬県環境資源保全協会女性部会(宮本 正子 代表幹事)が開催担当の重責を担い開催事業の開催運営企画案を協議した。

群馬県協会長よりの特段な提案指導と協会事務局の支援(会場設営・開催運営・開催記録(写真・ビデオ)を仰ぎ、公益法人組織としての開催運営は、(名称)第3回研修会開催を主軸に交流・見学視察会を組入れて特定会場内のみでなく有意義な日程企画による観光バスを運用して研修会開催前後は、車内での各協会女性部会員との交流親睦を深めるとともに、開催地の歴史・文化・遺跡・観光・物産などの見学視察と車内での群馬の山々(妙義・浅間・榛名・赤城山)やふる里の風景を観察など有意義な日程を鑑み第3回研修会他開催運営企画を図り、成功裡を期することとした。

第3回研修会開催の議事は、各協会女性部会代表者としての自覚・責務を担っての活発な動議は、今後の組織の拡大拡充・組織の健全な推進を図ることによる関東地域協議会女性部会の動向は全国組織への拡大・拡充構築を目指し更なる維持発展に向け緊密な連携を図り女性部会の台頭による社会の一翼を担い得る処理業界に向け「環境と資源の保全」を希求する循環型社会の形成を目指しての第3回研修会他の開催事業となった。尚、日本環境新聞取材(インダスト掲載)、群馬建設新聞取材掲載など女性部会関東ブロック事業への支援を仰いだ。

ここに、

他協会女性部会のご支援ご協力により群馬県協会女性部会開催担当の研修会・交流会・見学視察は、輝かしい実績により成功裡を収めた。



研修会開催



世界遺産「富岡製糸場」視察

2 1. (公社)全国産業廃棄物連合会 連携事業  
公益社団法人全国産業廃棄物連合会  
青年部協議会 関東ブロック  
平成26年度研修会・陽春交歓会開催  
開催日時 平成27年3月26日(木) Pm4:00  
開催場所 (高崎市)ホワイトイン高崎

---

[概要]

標記開催は、公益社団法人群馬県環境資源保全協会(城田 裕司 会長)青年部(江積 栄一 部会長)により、青年部協議会関東ブロック研修会と陽春交歓会が盛大に開催された。

群馬県協会の事務局・女性部会の後方支援により会場設営・群馬県協会開催資料・群馬県観光マップ等を用意した。

● 研修会は、公益社団法人全国産業廃棄物連合会 森谷 賢 専務理事による基調講演は、テーマ「業界の課題と青年部への期待」と題して最近の廃棄物から資源循環業へ移行する中、自社方針と戦略づくりが肝心、広い視野を持ち既成の考えにとらわれず取組む事が大切、あらゆる可能性を探求して欲しいと情勢解説し、大変素晴らしいご講演をいただき実りある研修会となった。

● 陽春交歓会に入り、主催代表 有吉 嘉一郎 関東ブロック会長と群馬県青年部会 江積 栄一 部会長が群馬県の観光物産を紹介、歓迎挨拶を行った。

群馬県協会 城田 裕司 会長((公社)全産廃連副会長)が挨拶し(公社)全産廃連は、若いエネルギーである青年部に大いに期待し青年部協議会の皆様が日本の処理業界の源となって欲しい、今後のご活躍を祈念するとの祝辞を述べた。

青年部協議会 加山 順一郎 会長も祝辞を述べ、引き続き 森谷 賢 専務理事の発声で乾杯し、多くの参加者は相互の交流を深め群馬県で同ホテル会場の2年続けての研修会・陽春交歓会は大成功裡を収めた。  
※報道機関が取材(日本環境新聞は「インダスト」掲載、群馬建設新聞は3/29(土)に掲載した)



研修会開催



陽春交歓会開催